

活発な公民館活動を

5月11日・12日の両日、町内の自治公民館長が自治公民館の役割と取り組みの状況を知らうと、熊本市で先進地研修をおこないました。

当日は31名の参加があり、市町村合併を経験した熊本市海氏公民館中緑校区の取り組みについて、同公民館の公民館長さんと地域興いの代表の方が説明されました。

中緑校区では有志によって設立された町づくり団体「中緑がんばる会」を中心として、自然を活かした独自の町づくり運動を展開しています。

参加者は「合併前と後では自治公民館の活動はどうか？」など質問をおこない、中緑校区の代表者から活動の内容を熱心に聞いていました。参加された公民館長さん方は「まずやってみよう！という行動力が必要。」「校区ごとの取り組みはたいへん参考になった。」などと口々に話されました。この研修が、今後の自治公民館活動に活かされることが期待されます。

早く大きくなってね！

学習畑に植付け

5月27日、求名小の3・4年生33名が、講堂裏の学習畑にさつまいも、ミニトマト、きゅうりなどの苗植えを実施しました。

当日は、高齢者6名とALTのサミー先生も加わり作業をおこないました。

児童はまず浅く掘られた溝に、手で堆肥を撒いた後、鍬を使って畝を作りました。

子どもたちはあまり鍬を使った経験がないのか、なかなか思うようにいかず、力を入れ過ぎて振り回してしまう子もいました。高齢者は「しっかり鍬を持って、もっと腰を入れて少し斜めに土に入れてください。」と指導していました。その後作物ごとの担当に分かれて、苗の植付けをおこないました。

今後児童たちは、植えた作物の成長記録を付け大きくなっていく様子を観察します。



▲学習畑での植付けの様子

熊本市での研修の様



町の入り口をきれいに

町商工会では、6月10日の商工会の日にあわせて、商工会館の清掃と町の入り口にある梅のモニユメント（造形物）を清掃しました。

当日は商工会会員など17名が参加。梅のモニユメントは設置されて約5年が経過し、けなどがへばりついていましたが、高圧水を使った清掃で見違えるようにきれいになりました。町商工会事務局長の東利昭さんは「今後も地域のために少しでも貢献していきたい



▶モニユメントを清掃する
商工会青年部

たい。」と話されました。

中津川小六年 増田浩大君
秋終わ

葉っぱちりちり
冬準備

中津川小六年 森 亮太君
雪ふれば

雪だるまくん
あらわれる

中津川小六年 橋口裕也さん
春の夜

明日へ向けて
飛び立つ日

中津川小六年 平野健人君
山の中

なにがきたかと
カブト虫

中津川小六年 上野友江さん
四季ごとの

葉っぱのカーテン
きれいだな

中津川小六年 小松正弥君
冬がきて

木の葉の着かえ
葉が落ちる

中津川小六年 段 勇哉君
夏の日に

ひまわり見たら
笑顔さく

中津川小六年 永江陽平君
冬の中
雪の中から うさぎでた